



〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町中里亀山540-8

TEL : 0173-57-2001

FAX : 0173-57-4929

E-mail : t_gijyutu_c@maff.go.jp



平成29年度 東北森林管理局 森林・林業技術交流発表会

平成29年度東北森林管理局森林・林業技術交流発表会が1月30日(火)、1月31日(水)の両日、秋田アトリオンで開催されました。

この発表会は管内東北5県(福島県を除く)の民有林と国有林が一体となった森林・林業・木材産業の技術の普及・向上及び関係者の技術交流推進への寄与等を目的として、森林・林業等に係る技術開発や地域において実践している林業活性化への取り組みなどの情報提供や意見交換を行うため、毎年開催しているものです。

今年も局・署等のもとより、県・高校・大学など幅広い機関から33課題の発表がありました。

当センターからは森林技術部門において森林技術専門官が「ヒバコンテナ苗による植栽試験」について、発表しました。4成長期後までの生存率と成長量、ヒバコンテナ苗の植栽可能期間について報告しました。

増田森林技術専門官



平成29年度 基礎研修 基礎全般(後期)研修 講師派遣

技術開発の講義

- ①センター概要
- ②技術開発の調査
- ③技術開発成果



当局では森林・林業に関する様々な知識や技術の習得を目的とした研修を実施しています。平成30年1月17日に新規採用者を対象に19名参加のもと基礎研修を当局内で実施しました。その研修で当センターから技術開発の講義を行いました。

講義は、①当センターの概要、②技術開発の調査、③技術開発成果について説明しました。技術開発の調査では、コンテナ苗容器、コンテナ苗植栽器具、コンテナ苗などを用いてコンテナ苗の基礎的内容を説明しました。また、技術開発成果では当センターで過去に取り組んだ「ブナ天然林における保育作業及び間伐効果の検証」について説明し

参加者は興味深く聞いていました。

当センターでは今後も研修等の機会を通じて、職員の森林に対する基礎力の向上、技術開発の普及をすすめていきたいと思っております。

【増田森林技術専門官】

平成29年度 青森県森林・林業・木材関係技術発表会

平成30年2月9日（金）に青森市にあるアピオあおもりにおいて、青森県と（地独）青森県産業技術センター林業研究所主催による平成29年度青森県森林・林業・木材関係技術発表会が行われました。この発表会は青森県内で活動する森林・林業・木材関係者が研究成果、活動内容及び関連技術を発表し、お互いの研鑽と技術向上を図るとともに、県内への普及を図り、もって森林・林業及び木材関連産業の発展に貢献することを目的として、毎年実施しています。

当日は10課題の研究発表があり、当センターからは今年も1課題発表しました。今年、青森県を代表するヒバを使用した再造林の際の参考になればと思い、「ヒバコンテナ苗による植栽試験」について、森林技術専門官が発表しました。ヒバコンテナ苗を植栽する場合、積雪期を除いて夏でも植栽可能であることなどを発表しました。

【小笠原副所長】



平成29年度 国有林野事業技術開発委員会技術開発部会

平成30年2月20日（火）に林野庁において、平成29年度国有林野事業技術開発委員会技術開発部会が行われ、森林技術・支援センター所長、森林技術専門官、局技術開発企画官が出席しました。

部会において、当局から新たにに取り組む課題として、「特定母樹挿し木コンテナ苗による低コスト造林試験」及び「2条、3条植栽による下刈省力と多様な森づくり」の2課題を提案しました。

また、中間課題の「ヒバ天然林施業の調査データ収集と解析」の経過報告、完了課題の「低密度植栽試験」、「ヒバコンテナ苗による低コスト育林手法の開発」の完了報告を行い、評価・指導のコメントをいただきました。

委員の皆様からの指導を反映させた課題開発に取り組んでいきたいと考えております。

【笠井所長・増田森林技術専門官】

技術開発完了課題の紹介

平成29年度で完了した下記の課題については後日ホームページで紹介します。

- ・【低密度植栽試験】 技術開発期間：平成26年～29年
- ・【ヒバコンテナ苗による低コスト育林手法の開発】 技術開発期間：平成27年～29年

平成29年度 第2回青森県林業技士会セミナー

平成30年3月8日（木）に青森市アラスカ会館において、平成29年度第2回青森県林業技士会セミナーが行われ、当日は林業関係者約130名が参加しました。当センターからは「再造林経費の縮減に向けた取組ー低密度植栽試験ー」と題して森林技術専門官が講演を行いました。

講演では東北森林管理局で取り組んでいる一貫作業システムなど低コスト化について紹介、特に低密度植栽試験を中心に発表しました。参加者からは「一貫作業システムにすることで何割くらい経費が削減できるのか」等の質問・意見が出され、活発に意見交換が行われました。今後も情報発信できるよう技術開発成果を普及していきたいと考えています。
【増田森林技術専門官】

森をさんぽ

増田です！



森林技術専門官
増田 悠介

最近、新聞の紙面に100年ぶりに新種のサクラを発見という記事を目にしました。これまで、日本に自生するサクラ属の野生種は9種が知られていましたが、この新種が認められれば、1915年のオオシマザクラから100年ぶりの新種で、野生種は10種になることとなります。森林総合研究所の調査によって、形態の違いと開花期の違いによって新種と判断し、紀伊半島南部に分布することからクマノザクラと命名したそうです。新種と聞くと何だか夢があり、クマノザクラを観



てみたくなります。

そのクマノザクラですが、観賞価値の高い個体があるようですので、今後増殖し高品質なクマノザクラの種苗の普及が進めば、様々なところでクマノザクラを観ることができるようになるかもしれません。まだまだ先の話ですが、そんな日がくることを楽しみに待ちたいと思います。



お世話になりました



4月1日付人事異動（内示）

朝日庄内森林生態系保全センター所長へ

笠井 史宏（所長）

編集後記

例年になく、今年一番の寒さが続き春はいつ来るのかと待ち遠しく思っていたら、気温が上がるとともに雪解けは早いですね。さて、29年度も「技術開発課題」に取り組むに当たり、御協力いただいた関係各位の皆様ありがとうございました。

30年度もよろしく願いいたします。

